研究課題名

「心肺機能停止対応業務プロトコルにおける搬送開始のタイミングに関する調査研究」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H27中倫小第3号）

横断調査研究実施についてのお知らせ

　救急科では、全国246の地域メディカルコントロール協議会発行の心肺機能停止状態とそれに関するプロトコルを記載した書類（以下プロトコル）を対象とした横断調査研究

を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成27年　6月30日

【研究課題名】

心肺機能停止対応業務プロトコルにおける搬送開始のタイミングに関する調査研究

【研究期間】

平成27年4月1日〜平成28年3月31日

【調査対象】

対象はヒトではなく、書類（プロトコル）。

【研究目的・意義】

心肺停止傷病者に対する胸骨圧迫に際しては、中断を最小限とし、その質を最大に保つことが肝要である。胸骨圧迫に影響を与える因子は、現場の状況、救助者の疲労等多々あるが、搬送に際して患者を移動することもその一つである。心肺機能停止状態の患者を移動するタイミングに関しては、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会のプロトコル例では、特定行為の適応のないPEA/心静止症例と示されているものの、地域での実際のプロトコルは不明である。また、消防庁提供のウツタインデータでも現場出発時間の提供はなく、これらのプロトコルの運用状況も不明である。本研究の目的は、日本全国の地域メディカルコントロール(以下MC)協議会、県MC協議会の心肺機能停止状態に対するプロトコルを調査し、患者移動のタイミングがどのように記載されているか、現状を明らかにすることである。

【研究の方法】

全国246の地域メディカルコントロール協議会より心肺機能停止状態とそれに関連するプロトコールを収集し、現場出発のタイミングがどのように記載されているかを調査する。初期調律、除細動の回数、各種特定行為の有無、オンラインMCの有無を収集したプロトコルから、複数の研究者が独立して、あらかじめ作成した調査票に基づき抽出し、記述統計量を用いて検討する。

【個人情報の取扱い】

研究対象となる文書は、業務手順に相当するものであり、患者個人情報を含まない。

【研究機関】

沖縄県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

研究実施責任者：沖縄県立中部病院　救急科　山口裕（内線2633）